

## 2016 年度第 2 回執行理事会議事録

期 日：2016 年 7 月 30 日（土） 13:00～19:00

場 所：地質学会事務局

出席者：渡部会長 山本副会長 松田副会長（4 時退席） 齋藤常務理事 安藤（3 時出席）  
緒方 岡田（3 時退席） 杉田 田村 辻森 内藤 中澤 西（事務局）橋辺

欠席者（委任状提出あり）：小宮 坂口 平田 廣木 山田

\* 定足数（12, 委任状含む）に対し, 出席者 13 名, 委任状 5 名, 合計 18 名の出席.

\* 前回議事録を承認.

### I 審議事項

#### 1. 産総研地質調査総合センターよりの提案（齋藤）

「地方における CPD 単位認定講演会等への講師派遣に関するご提案」があった. 応用地質学会等にも提案中. 行事の主体は学協会, 産総研は共催という形で講師の派遣支援等を行う.

主催：学協会（参加者の募集, 会場の手配, GSJ への共催依頼手続）

共催：産総研（講演可能リストの提案, 講師の派遣（旅費のみ, 謝金不要）, 会場の提供）

#### 2. 学会賞及び小澤/柵山賞受賞者へのレビュー論文の執筆依頼について（中澤）

受賞者による総説執筆を復活させ, 来年度からのルール化を目指す.

#### 3. 創立 125 周年に向けての学会（長）コミュニケについて（渡部）

本件について説明があり, 提出された資料の説明と 125 周年の会長名による宣言文（案）の内容に関して議論がなされた.

#### 4. 9 月理事会の審議事項

125 周年記念事業リストとスケジュールの確認

謝金に関する細則の検討（運営規則の変更）

各種委員会委員の変更及び既存委員会の現状把握と整理

#### 5. その他

1) ORCID について, 学会としてメンバー登録するための情報を調べることにした.

2) 前年度の理事会で審議の結果, 執行理事会での再検討となった各賞選考規則の改正（特に, 小藤文次郎賞と研究奨励賞について）について検討した結果, 改正は行わないことにした.

### II 報告事項

#### 1. 全体的報告

1) 「県の石」についての広報・周知のお願いを, 8 月 1 日に山口県知事に会長が直に手わたすこととなった.

2) 国際地学オリンピック（8/21-27）開催への出席については, 松田副会長が開会式にのみ出席することとなった.

・開会式 8/21(日) 10:00-11:00

・表彰式 8/27(土) 9:30-11:00

\* 会場はいずれも三重大学三翠ホール

- 3) 第1回防災推進国民大会(8/27-28, 東大小柴ホール)への参加: 講演会の実施  
8/27 10:00-12:30 「都市の地下を知って安全な社会を」栗本氏ほか5講演
- 4) 全地連発行「地質と調査」編集委員会より小特集「人材育成」についての記事の執筆依頼があった。検討の結果, 坂口理事が寄稿することとなった。
- 5) フィールドマスター認定の概要について(山本)  
現状報告があり, 方針と具体案について意見を収集した。本件については今後さらに検討を進める。

## 2. 運営財政部会: 総務委員会 (緒方・西)

### <共催・後援依頼, 他団体の募集等>

1. 沖縄協会より「第38回沖縄研究奨励賞」の公募(7/15-9/30, 学会〆切 9/15) → HP, geo-flash, News 掲載
2. 朝日新聞文化財団より朝日賞の推薦依頼(〆切 8/25, 学会〆切 8/10) → HP, geo-flash, News 誌に掲載
3. 日本科学協会より平成29年度笹川研究助成の募集(学研究 10/1-14, 実践研究 11/1-15) → HP, geo-flash, News 誌に掲載
4. 東京大学海洋研究所より, 学研究船「白鳳丸」の平成29年度実施の研究航海に参加して実施する小規模研究募集(期限 9/9), および, 東北海洋生態系調査研究船新青丸共同利用の公募(期限 9/9) → HP, geo-flash に掲載
5. 蒲郡市生命の海科学館より, 当学会の第7回惑星地球フォトコンテストの展示会開催につき, 共催依頼を承諾した。
6. 第17回子供のためのジオカーニバル企画委員会より(代表者 廣木義久, 11/5-6, 大阪市)の後援名義使用依頼を承諾した。

### <その他>

1. 原子力構造工学推進連絡会(IASMiRT)(代表高田毅士: 東大)の設立(2016/06)通知 → 理事会メールに回覧。SMiRT24(原子力構造工学国際会議, 2017/08, 釜山)の案内あり。
2. 学協会役員変更の挨拶: 土木学会(新会長田代民治氏ほか), 地盤工学会(会長村上章氏ほか)
3. 会社役員変更の挨拶: 賛助会員石油資源開発㈱(会長渡辺修氏, 社長岡田秀一氏ほか), 公財)深田地質研究所(理事長松岡俊文氏), 社)学術著作権協会(代表理事野間豊氏)

### <会員>

1. 今月の入会者(69名)\*氏名別紙回覧  
正会員[14名]:  
正(院割)会員[49名]:  
正(学部割)会員[7名]:
2. 今月の退会者(5名)  
石川真帆, 田中秀輝, 村岡 諭, 饗場清文, 箕輪賢二
3. 今月の逝去者(1名)  
鈴木一久(7/13)

#### 4. 2016年6月末日会員数

賛助：27, 名誉：57, 正会員：3638 (正会員：3516, 院割会員：115, 学部割会員：7)  
合計 3722 (昨年比 -48)

#### <会計>

- ・9月の年會に、招待・訪問の国際交流関係者の懇親會への招待及び都内観光等の費用について経費の負担を検討し、概要を確認し国際交流費として負担することとした。
- ・熊本地震の調査等に関する費用負担：大橋会員、向吉会員等については、地質災害委員会(斎藤常務)より、本人に確認することとした。
- ・The Geology of Japan の入荷は8/10の予定、注文者に代金の送金を依頼した。会員向け価格は送料込みで6,500円とした。別途学会の事務所までの搬入と木枠の開梱費用として運送業者に8,640円を支払った。
- ・予算計画に基づき、地学オリンピック日本委員会への今年度の協賛(6口30万円)を承諾した。
- ・西日本支部のCPD行事の収支のプラス分について、共催の山口大学へは半額を学会からの奨学寄付金(88,000円)とした。

#### 3. 広報部会：広報委員会 (坂口・小宮・内藤)

- ・昨年同様、日本印刷㈱のギャラリーにおいて、8/2-12までフォトコンの展示会を開催してくれることとなった。県の石についても大パネルを作成して展示の予定。  
この後例年通り、地質情報展、蒲都市生命の海科学館で順次展示される。

#### 4. 学術研究部会 (岡田・山田)

##### (1) 行事委員会 (岡田)

- ・東京桜上水大会準備状況  
発表申込件数 582 件：口頭 339 件、ポスター 243 件 (ポスター賞エントリー 116 件)  
巡検申込み状況：現状で定員に達したコースは1つのみ。メ切が近いが参加を呼びかける。  
ハイライト発表をどう定義するかの議論があった。

##### (2) 国際交流委員会 (井龍)

- ・井龍担当理事より、下記の方々の10日の懇親會への招待及び11日予定のプチ東京ツアーの経費負担要請があり、承認された。
- ・国際賞受賞者招待 (往復航空運賃およびホテル3泊 負担)  
Prof. Roberto Compagnoni 氏
- ・招待者 (ホテルのみ負担)  
大韓地質学会：会長 Prof. Min Huh 氏 9/10-11 (1泊), Prof. Yul Roh 氏 9/10-12 (2泊)
- ・国際シンポジウム関係  
韓国：Don Sunwoo 氏 9/9-13 夫人同伴 (4泊)  
台湾：Hsu Shukun 氏 9/11-13 (2泊)

##### (3) JIS, 標準担当 (中澤)

現在、地質学雑誌掲載分の地層名についての収集作業が進められている。

#### 5. 編集出版部会 (中澤・田村・小宮)

##### (1) 地質学雑誌編集委員会 (山路編集委員長)

- 1) 編集状況報告 (6月8日現在)。

2016年投稿論文 総数56編 [総説3(和文3), 論説29(和文29), 報告4(和文3, 英文1), 講座5(和文5), ノート3(和文1, 英文1), 口絵1(和文1), 巡検案内書11]

査読中: 37 受理済み: 12

- ・122巻7月号: 巡検案内書5編(計82ページ, 印刷中, 8/2発送予定)
- ・122巻8月号: 巡検案内書5編(計約90ページ, 入稿準備中)
- ・巡検案内書について, 全11コース中10コース受理(7, 8月号に掲載). 残りの1編については査読中.

2) トムソン社から雑誌のデータベース収録に関する要望があった.

## (2) アイランドアーク編集委員会 (田村)

### 1) 編集状況

Vol. 25 Issue4 (2016年7月): 一般原稿4編(うち口絵1). 50ページ(7/7発行済み)

Vol. 25 Issue5 (2016年9月): 特集号: Geological records of storms, tsunamis and other extreme events (世話人: 藤野滋弘) 6編(うち2編Early View公開済み)

### 2) オンライン投稿の状況

過去半年(2016.2.1~2016.7.29)の投稿数46件. うち新規投稿41件.

投稿中特集号の状況(3編)

- ・Land-Ocean Linkages and Biotic Evolution during the Cretaceous: Contribution from Asia and Western Pacific (IGCP特集号, 世話人: 安藤寿男ほか) 26編投稿(受理2編)
- ・Orogenic processes in island arcs: subduction, accretion, collision and recycling (山本特集, 世話人: 山本啓司) 16編で構成予定. 投稿済み1編. 6月末締切り予定であったが, 投稿が遅れている. 世話人督促中(7/5現在)
- ・Recent progress in study on calcareous algae and algal sediment (仮) (世話人: 井龍康文) 構成予定10編すべて投稿済み. 査読中.

### 3) その他

- ・2015年IF発表(2016.6.15): 1.397
- ・誌面レイアウトの変更については, 作業がおこなわれていたが, Vol. 25, Issue 6 (2016.11月号)より新誌面で発行予定.

## (3) 企画出版委員会 (小宮)

### 6. 社会貢献部会 (平田・杉田・廣木・辻森)

- ・「月刊石材」発行元の石文社より, 先般実施された国会議事堂の石見学会の案内者に対し, 石の魅力についての取材の申し込みがあり, 取材を受けることで幹事の細矢氏が調整中.
- ・秋の地質調査研修の実施にあたり, 産総研に対し7/26付けで共催の申請をおこなった.

### 7. ジオパーク支援委員会 (平田)

### 8. 地学オリンピック支援委員会 (平田)

- 1) 日本地学オリンピック委員会より, 来年度の地学オリンピック出題委員推薦の依頼があり, 地質学会から会員一名を推薦した.
- 2) 平成28年度活動支援協賛の依頼を受け, 例年どおり協賛を承諾した.
- 3) 国際地学オリンピック三重大会の準備状況について
  - ① 参加チーム: 27チーム(過去最高, これまでの最高は第5回イタリア大会の26)

オーストラリア, オーストリア, バングラデシュ, ブラジル, カンボジア, 台湾, チェコ, フランス, ドイツ, インド, インドネシア, イタリア, 日本, カザフスタン, 韓国, マラウイ, ノルウェー, 中国, ポルトガル, ルーマニア, ロシア, スペイン, スリランカ, タイ, トルクメニスタン, ウクライナ, アメリカ, (オブザーバー: アルゼンチン)

② 参加選手: 102名 (1チームあたり4名が原則. ただし, それ以下でも可)

ゲスト生徒: 10名 (参加選手と同じくすべての活動には参加可能. ただし, メダル授与の対象外)

③ 一般公開 (見学可能) の日程

8月21日 10:00-11:00 開会式 (三重大学三翠ホール)

8月26日 13:30-16:30 国際協力野外調査 (通称, ITFI) 発表会

8月27日 09:30-11:00 閉会

#### 9. 地質災害委員会 (斎藤)

・委員長の交代 (松田達生理事) ならびに委員の継続交代については調査中.

#### 10. 地質技術者教育委員会 (山本)

#### 11. 125周年記念事業実行委員会 (緒方, 渡部)

・会員証カードの検討状況報告

9月の理事会で審議する. カードはプラスチックカード [掲載情報は名前+会員番号] で, 2017年発行. 2018年に会員に配付を目指す.

・125周年記念ロゴの募集は締め切れ, 17点の応募があった. 現在会員のWeb投票中 (8/22まで). 8月末から9月初旬に選考委員会 (7名) において, 入賞ロゴ (最優秀1, 優秀2) を決定し, 11月初旬までにリメイクし完成予定.

#### 12. 県の石支援委員会 (辻森)

・県の石の広報と周知について, 山口県知事をお願いをすることとなり, 8/1会長が県庁に赴き知事に直接依頼状を手渡すこととなった. また, 鳥取県にも同様に働きかける予定.

・県の石出版について, 7/13つくばの科博にて第1回の打ち合わせをおこなった.

以上

2016年9月9日

一般社団法人日本地質学会執行理事会  
会 長 (代表理事) 渡部芳夫  
署名人 執行理事 斎藤 眞